

2021（令和3）年度 社会連携・社会貢献活動
～地域社会連携～

社会連携・社会貢献の方針	取り組み名／公的機関の委嘱／専修大学が参加している事業名	概要	連携先	取り組み期間・期日
2. 地域社会連携	川崎市産業振興財団新産業研究所（所長）川崎市イノベーション研究	セミナーを主催、基調講演を担当。	川崎市産業振興財団新産業研究所	2021（令和3）年
2. 地域社会連携	川崎市男女平等推進審議会（副会長）	審議会の委員として討議に参加し、会長とともに議事総括を務めた。	川崎市男女平等推進審議会	2021（令和3）年
2. 地域社会連携	専修大学総合体育館プールの一般利用	専修大学総合体育館内の室内プールを一般に公開	川崎市	4月～12月
2. 地域社会連携	千代田区との「大規模災害時における協力体制に関する基本協定」	千代田区と学校法人専修大学との災害発生時及び平常時の協力体制に関する基本協定。協力内容は、次のとおり。 ① 地域住民、千代田区在勤者等の安全確保のために大学施設の一部を一時避難場所として提供 ② 大学施設に収容した被災者への応急医療資材及び備蓄物資の提供 ③ 千代田区から要請のあった被災場所及び避難場所等への学生ボランティアの派遣	千代田区	2005（平成17）年4月1日～
2. 地域社会連携	シェアサイクルの設置	身近な地域交通における移動環境の充実を目指し、移動手段の一つとして便利で利用しやすいシェアサイクルの利用・普及促進	川崎市	2019（令和元）年8月～
2. 地域社会連携	危険薬物乱用防止講習会の開催（神田）	神田校舎については川崎市健康福祉局から提供されたパワーポイントを使用して、スポーツリテラシーの講義において1年次生への注意喚起の講演を実施。	川崎市健康福祉局	2021（令和3）年4月～
2. 地域社会連携	危険薬物乱用防止講習会の開催（生田）	生田校舎については川崎市健康福祉局から提供されたパワーポイントを使用して、スポーツリテラシーの講義において1年次生への注意喚起の講演を実施。	川崎市健康福祉局	2021（令和3）年4月～
2. 地域社会連携	令和3年度 大学・地域連携事業	小池 隆生 経済学部教授、鈴木 奈穂美 経済学部教授 テーマ：多摩区内の住民組織が実施する住民活動へ学生が体験的参加交流をおこなうことによる住民の生活ニーズの再発掘事業	川崎市多摩区	2021（令和3）年4月～2022（令和4）年3月
2. 地域社会連携	かわさき男女共同参画ネットワークへの参画	かわさき男女共同参画ネットワーク全体会議（年1回）及び運営会議（年3回）に、加盟団体として出席。加盟44団体が、自主的に男女共同参画を推進することを目的に、情報交換を行った。また、運営委員として年間活動テーマの決定や男女平等かわさきフォーラム（2022（令和4）年2月19日開催）の企画運営を行った。	かわさき男女共同参画ネットワーク	2021（令和3）年4月1日～2022（令和4）年3月31日

2021（令和3）年度 社会連携・社会貢献活動
～地域社会連携～

2. 地域社会連携	地域商店街調査（ゼミ活動）	地元NPO団体・多摩エコスタイルと共同実施。区役所通り登栄会商店街、登戸東通り商店会、民家園通り商店会、多摩商店街で実施。		2021（令和3）年5月～7月
2. 地域社会連携	川崎市中小企業専門部会（委員長）	令和2年度実績とりまとめ、2021（令和3）年度計画、を意見具申。	川崎市中小企業専門部会	2021（令和3）年5月26日
2. 地域社会連携	クリーンタウンの実施	《目的》：NPO法人多摩川エコミュージアムおよび体育会本部との連携をはかり、体育会による清掃活動を行うことで専修大学の社会貢献活動の一助とする。 《2021（令和3）年》：2021（令和3）年7月03（土）に例年より規模を縮小して実施予定。	NPO法人多摩川エコミュージアム	2021（令和3）年7月3日
2. 地域社会連携	「今、大学生がオススメしたい本！」@川崎市立多摩図書館	川崎市立多摩図書館において図書館ボランティア「Compass」が協力し、展示「今、大学生がオススメしたい本」を開催。展示コーナーにはCompassメンバーが厳選した約100冊の本と、それを紹介するポップなどを飾り、多摩図書館利用者に本との出会いを提供した。 <会場：川崎市立多摩図書館>	川崎市立多摩図書館	2021（令和3）年7月1日～7月19日
2. 地域社会連携	【千代田区内大学と千代田区の連携協定】連携協力会議参加	2021（令和3）年度は7月9日事務担当者会議を書面にて開催 当課で把握している他の事柄 ・千代田学（岩尾詠一郎商学部教授）：千代田区における食料品と生活必需品の備蓄のあり方について～各家庭での食料品と生活必需品の備蓄実態を考慮して～に採択され、研究を実施したこと。 ・千代田学（根岸 徹郎国際コミュニケーション学部教授）が2022（令和4）年度事業に採択されたこと。 ・専修神田ボランティアが地域貢献活動の一環として、千代田区男女共同参画センター主催の第9回MIW祭り（九段生涯学習館）でAED体験指導を行ったこと。 ・クリーンタウン活動を11月27日に実施（12回目）。参加者は在学生62、教職員17、町内会32の総勢103名。	千代田区	2021（令和3）年7月9日
2. 地域社会連携	川崎市中小企業専門部会（委員長）	地域振興券に取り扱いについて意見具申。	川崎市中小企業専門部会	2021（令和3）年8月4日
2. 地域社会連携	多摩区・3大学連携協議会	川崎市と大学の双方がテーマを持ち寄り、それぞれ抱えている課題等について協議を行う	川崎市多摩区	2021（令和3）年11月2日

2021（令和3）年度 社会連携・社会貢献活動
～地域社会連携～

2. 地域社会連携	第14回 川崎国際環境技術展への出展	データサイエンス研究プロジェクトの成果を紹介 https://www.kawasaki-eco-tech.jp/outline.html	川崎市	2021（令和3）年11月16～11月26日
2. 地域社会連携	Clean Town in KANDA	神田校舎から最寄の駅3駅までの通学路と大学周辺地域を学生、教職員、町内会の総勢103名が地域の清掃活動を通し世代間交流を行なった。	神保町三丁目町会	2021（令和3）年11月27日
2. 地域社会連携	伊勢原市とのスポーツ推進・健康増進に関する協定書締結	専修大学と伊勢原市は、相互に連携及び協力し、技術的・物的な資源の相互活用を図ることにより、地域社会におけるスポーツ推進・健康増進に寄与することを目的として、本協定を締結する。	伊勢原市	2022（令和4）年1月21日
2. 地域社会連携	多摩区・3大学コンサート（Webコンサート）	吹奏楽研究会が動画を提供	川崎市多摩区	2022（令和4）年2月
2. 地域社会連携	川崎市中小企業専門部会（委員長）	2021（令和3）年度実績とりまとめ、2022（令和4）年度計画、を意見具申。	川崎市中小企業専門部会	2022（令和4）年5月25日
2. 地域社会連携	オープンライブラリー	中学生・高校生・大学受験生を対象に、図書館本館・神田分館・Knowledge Base（靖国通り分館）を勉学の場として開放。 ※ただし、2021（令和3）年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止		夏期休暇期間
2. 地域社会連携	「市政だより」「議会かわさき」などの設置・配布	川崎市が作成する「市政だより」「議会かわさき」などを学内に設置・配布	川崎市	通年
2. 地域社会連携	専修大学図書館の川崎市職員の利用	専修大学図書館の川崎市職員を対象とした一部サービスの提供。	川崎市	通年
2. 地域社会連携	川崎市が主催する各種イベントのチラシ設置・配布	川崎市各部局等が主催する各種イベントのチラシ、ポスター、申込書等の掲示及び配布	川崎市	通年
2. 地域社会連携	改訂版 開花季節で調べる 生田緑地の草本植物	生田キャンパスに隣接する生田緑地の草本植物について、自然科学研究所報86号に掲載したところ一般住民から好評を頂き、平成21,22年に本学で開催された「教員免許講習」でも小中学校の先生から頒布希望者が多かったことから、増刷を行い、頒布している。URL： https://www.senshu-u.ac.jp/research/center/shizenkagaku/		通年

2021（令和3）年度 社会連携・社会貢献活動
～地域社会連携～

2. 地域社会連携	専修大学図書館（神田分館・Knowledge Base）の利用	学外者を対象とした一部サービス（所蔵資料の閲覧・貸出・複写）の提供。利用可能なサービス、利用登録料等の詳細は図書館ホームページ参照。 <対象者：千代田区在住者> ※ただし、2021（令和3）年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から学外者利用を停止		通年
2. 地域社会連携	専修大学図書館（本館・生田分館）の利用	学外者を対象とした一部サービス（所蔵資料の閲覧・貸出・複写）の提供。利用可能なサービス、利用登録料等の詳細は図書館ホームページ参照。 <対象者：「神奈川県内大学図書館共通閲覧証」利用者、神奈川県立の図書館利用登録者、川崎市多摩区在住・在勤者> ※ただし、2021（令和3）年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から学外者利用を停止		通年
2. 地域社会連携	多摩区・3大学連携協議会	多摩区にゆかりのある専修大学、明治大学、日本女子大学と川崎市（多摩区）は、平成17年12月に協定を締結し、「多摩区・3大学連携協議会」を設立。協議会では、各大学の知的資源・人材を活用して、地域課題の解決に向けた実践的取り組みを協働で行っている。	川崎市多摩区	通年
2. 地域社会連携	「KSパートナーシップ・プログラム」川崎市職員の専修大学大学院委託生としての受入れ	実績なし	川崎市	